

週間漁海況情報 2024年第14号

令和6年4月2日発行

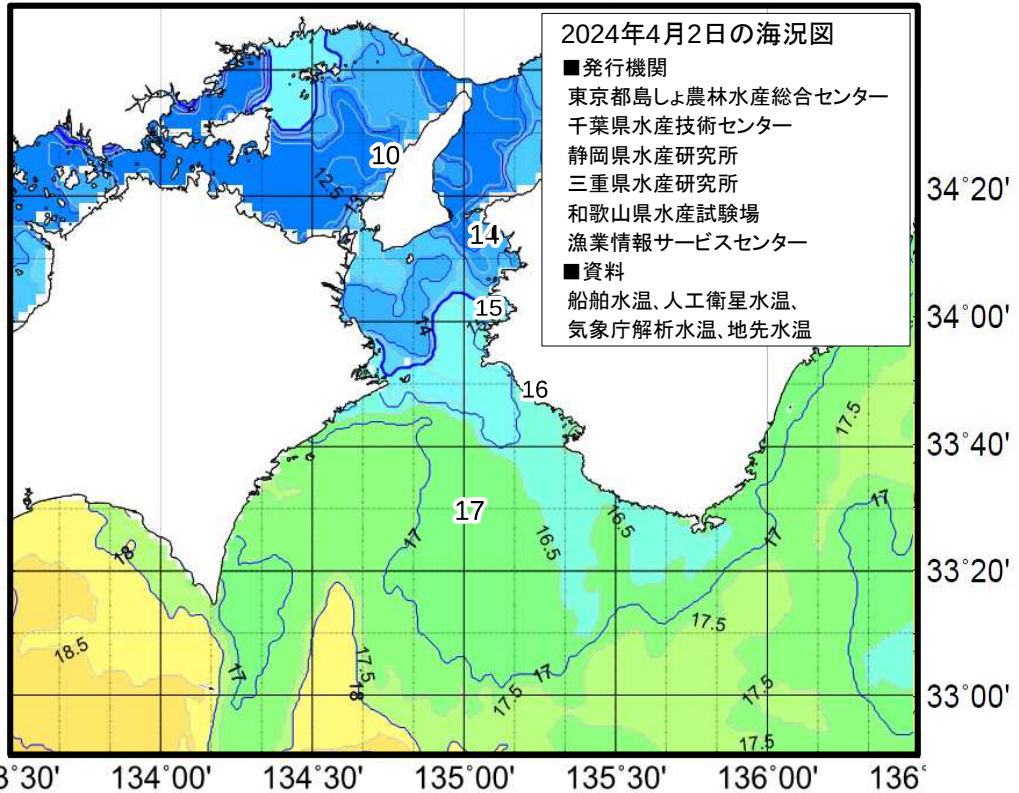
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖85マイル付近、潮岬沖160マイル以上を流れ、室戸、潮岬とも「著しく離岸」している。黒潮は大きく離れているが、和歌山側から紀伊水道への暖水波及が見られる。冷たい内海水は海部沿岸沿いを南下している。今後、黒潮は室戸岬に近づくと予測されている。

黒潮の表面水温は20～21℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘は12～13℃、紀伊水道は13～16℃、海部沿岸は16～17℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

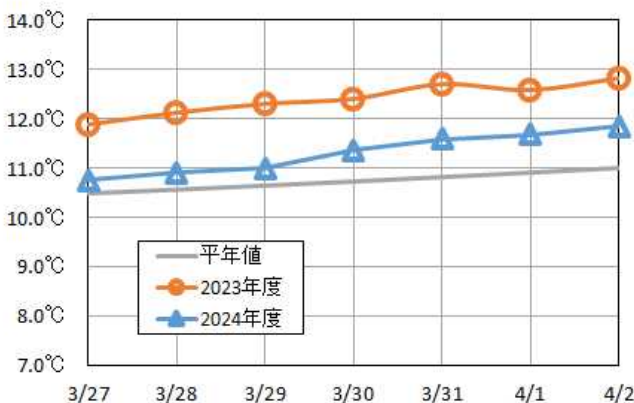
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

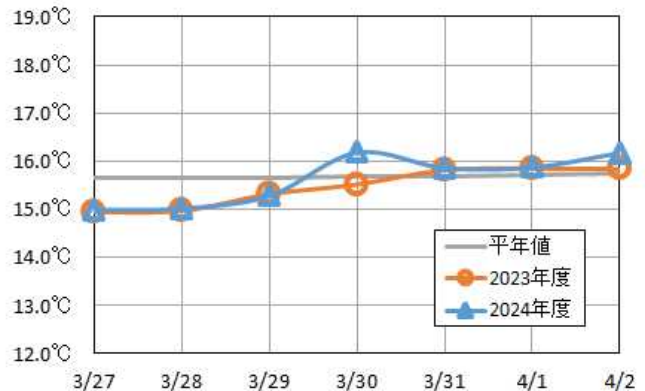
2. 地先水温(3月27日～4月2日)

鳴門地区の水温は、10.9～11.8℃で「やや高め」から「高め」、浅川地区は、15.0～16.1℃で「やや低め」から「平年並み」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は4.1～4.8℃で、先週と比べて若干狭まった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(4月3日～4月9日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖ともに「著しく離岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「高め」、浅川地区は「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (3月25日～3月31日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：5)

釣りでは、ブリが大きく増えてめじろ級主体に0.2ト水揚げされた。

建網では、メジナが減って大主体に0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが豆アジ級主体に0.8ト、ブリが大きく増えてめじろ級主体に0.7ト、ヒラメが大きく増えて0.3ト、マダイが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

底びき網では、マアジが大きく増えて小主体に1.1ト、えそ類が増えて1ト、マダイが大きく増えて0.9ト、コウイカが減って大主体に0.5ト、ハモが中主体に0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

建網では、ブリが大主体に0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、カタクチイワシが2.1ト、ブリが減って0.6ト、いわし類主体が0.3ト、さば類が0.3ト、ウルメイワシが0.2ト水揚げされた。

大型定置網では、ブリが減って3.5ト、マアジが大きく減って2.1ト、イシダイが大きく減って0.3ト、マサバが大きく減って0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が 0.20トン以上のものを抜粋)

	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あ たり(kg)	銘柄	前週比※	
紀伊水道	釣り	7	ブリ	219	31	めじろ級主体	↗↗	
	建網	13	メジナ	204	16	大主体	↘	
	小型定置網		15	マアジ	825	55	豆アジ級主体	→
			17	ブリ	738	43	めじろ級主体	↗↗
			18	ヒラメ	339	19		↗↗
			16	マダイ	244	15		↗↗
	底びき網		10	マアジ	1,087	109	小主体	↗↗
			21	えそ類	961	46		↗
			19	マダイ	915	48		↗↗
			21	コウイカ	521	25	大主体	↘
		19	ハモ	214	11	中主体	→	
海部沿岸	建網	5	ブリ	276	55	大主体	→	
	小型定置網		14	カタクチイワシ	2,120	151		→
			13	ブリ	576	44		↘
			3	いわし類主体	323	108		→
			7	さば類	322	46		→
			12	ウルメイワシ	219	18		→
	大型定置網		4	ブリ	3,468	867		↘
			4	マアジ	2,118	529		↘↘
			3	イシダイ	345	115		↘↘
		3	マサバ	210	70		↘↘	

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘